

総合人間科学 法 学

1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在
教授	1 人
病院教授	0 人
准教授	0 人
病院准教授	0 人
講師（うち病院籍）	0 人 (0 人)
病院講師	0 人
助教（うち病院籍）	0 人 (0 人)
診療助教	0 人
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人
医員	0 人
研修医	0 人
特任研究員	0 人
大学院学生（うち他講座から）	0 人 (0 人)
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技術職員（教務職員を含む）	0 人
その他（技術補佐員等）	0 人
合計	1 人

2 教員の異動状況

大磯 義一郎（教授）（H24.4～ 現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	4 編 (4 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編
そのインパクトファクターの合計	0.00
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編 (0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編 (0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編 (0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 大磯義一郎 : 入浴における訴訟. 地域リハビリテーション 第9巻第4号: 318-321,2014
 2. 大磯義一郎 : 褥瘡における司法判断. 地域リハビリテーション 第9巻第5号: 400-402,2014
 3. 大磯義一郎 : 誤嚥における訴訟. 地域リハビリテーション 第9巻第6号: 492-495,2014
 4. 大磯義一郎 : 診療ガイドラインと医療紛争. 腎臓予防医誌 vol23 .No1: 38-42,2015
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総説

(4) 著書

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 26 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 26 年度
(1) 文部科学省科学研究費	1 件 (50 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件 (0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件 (0 万円)
(4) 財団助成金	1 件 (182 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件 (0 万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	0 件 (0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

文部科学省、学術振興会科研費、医療訴訟判決の解析に基づく診療科別・疾患別医療安全工学的対応策の検討、平成25年—27年、50万円 (平成26年度)

(2) 厚生労働科学研究費

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

国立研究開発法人科学技術振興機構、未病に取り組む多世代共創社会の形成と有効性検証、平成 26—29 年、182 万円 (平成 26 年度)

(5) 受託研究または共同研究

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	8 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	40 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	1 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 2014 年 6 月、第 44 回春季群馬県医学会「医療訴訟の実際とその対策」
2. 2014 年 7 月、第 23 回日本腎泌尿器疾患予防医学研究会、「診療ガイドラインと医療紛争」
3. 2014 年 8 月、外来小児科学会年次集会、「予防接種の法令を理解する」
4. 2014 年 10 月、第 26 回日本生命倫理学会年次大会、「特定生殖補助医療の法制化に関する法学的課題」
5. 2014 年 10 月、第 7 回医療界と法曹界の相互理解のためのシンポジウム
6. 2014 年 10 月、日本医療マネジメント学会医療安全分科会、「インフォームド・コンセントを捉えなおす、双方向価値共創マネジメントのツールとして」
7. 2014 年 11 月、日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック地方会、「医療法学のすすめ 糖尿病関連訴訟からみる診療上の注意点」
8. 2015 年 2 月、静岡県臨床整形外科医会総会、「診断書作成における法的検討課題」

3) シンポジウム発表

1. 2015 年 1 月、医療事故調査制度シンポジウム、「国民・患者のための医療事故調査制度へ向けて より安全な医療を築くために必要なこと」、於昭和大学病院
2. 2015 年 2 月、第 5 回医療法学シンポジウム、「医療事故調査報告書、及び、聞き取り調査書等内部資料と文書提出命令等証拠開示手続との関係」
3. 2015 年 3 月、第 15 回浜松医科大学シンポジウム、「医師法、医療法に関する通知・通達データベースの検索利便性の向上」
4. 2014 年 4 月、リリーブラッシュアップセミナー、「糖尿病領域の医療裁判について」、於都市センターホテル
5. 2014 年 5 月、講演、相模原医師会「医療法学とは」、於ウェルネス相模原
6. 2014 年 5 月、講演、「消化器疾患と医療裁判」、於浜松医療センター
7. 2014 年 5 月、講演、栃木県保険医協会、「法体系の中での個別指導対策」、於とちぎ健康の森
8. 2014 年 5 月、講演、静岡県社会保険事務局、「保険診療における審査等の考え方」、於静岡県社会保険事務局

9. 2014年5月、講演、「介護訴訟の実際」、於浜松リハビリテーション病院
10. 2014年6月、講演、「診療録の考え方」、於聖隷沼津病院
11. 2014年7月、講演、保団連夏季セミナー「医療事故調のあるべき姿—医療安全と再発防止に向けて」、於都市センターホテル
12. 2014年7月、講演、相模原医師会、「インフォームド・コンセント再考」、於ウェルネス相模
13. 2014年7月、講演、群馬県保険医協会、「個別指導で慌てないために知っておくべき法知識」、於群馬県生涯学習センター
14. 2014年7月、講演、「転倒・転落事故における病院の責任、事故発生時の謝罪について」、於磐田市立総合病院
15. 2014年7月、講演、免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム「医療と司法の相互理解に向けて—医療法学のすすめ—」於千葉大学
16. 2014年8月、講演、第140回AID・介護事故勉強会、「介護事故の法的責任」、於銀座フェニックス・プラザ
17. 2014年9月、講演、相模原医師会、「個人情報保護法」、於ウェルネス相模原
18. 2014年9月、講演、浜松リハビリテーションセミナー、「介護訴訟の実際」、於アクトシティ浜松
19. 2014年9月、講演、「患者・家族の相談やクレームにどのように対応するか」、於三島総合病院
20. 2014年9月、講演、「医療法学的視点からみた診療ガイドライン」、於福井赤十字病院
21. 2014年10月、講演、日本精神科看護協会、「医療従事者に求められる守秘義務—ソーシャル・ネットワークキング・サービス普及に伴う警鐘」、於品川キャナルビル
22. 2014年10月、講演、「診療録の法的位置づけと日常臨床上の注意点」、於聖隷三方原病院
23. 2014年10月、講演、「介護事故の法的責任」、於市町村会館
24. 2014年10月、講演、「個人情報保護法」、於浜松医療センター
25. 2014年11月、講演、津地区医師会、「医療事故調査制度の歴史と今後の課題」、於津地区医師会館
26. 2014年11月、リリーブラッシュアップセミナー、「糖尿病領域の医療裁判について」、於都市センターホテル
27. 2014年11月、講演、大阪府保険医協医会、「医療事故調査制度の問題点と今後の課題」、於大阪保険医協会 M&D ホール
28. 2014年12月、講演、「医療紛争処理としてのメディエーション」、於浜松医療センター
29. 2014年12月、講演、医師養成大学院（メディカルスクール）シンポジウム、「法科大学院の光と影、そして医師養成大学院（メディカルスクール）への応用」、於TIP*S / 3×3 Labo
30. 2014年12月、講演、「医療倫理、研究倫理」、於滋賀医科大学
31. 2015年1月、講演、「製薬企業に求められるこれからの倫理観～昨今の医師主導臨床研究にまつわる課題と見解」、於大手町ビルヂング
32. 2015年1月、講演、「医療法学のすすめ」、於特別区職員研修所

33. 2015年1月、講演、長崎県保険医協会、「医療事故調査のあるべき姿－医療安全と再発防止に向けて」、於メルカつきまち
34. 2015年2月、講演、医療法学セミナー・スペシャル第1回シンポジウム「立場を超えて、ともに考える『予期せぬ事態』後の支えとケア～『医療事故調査制度』の施行を目前にして～」於慶應義塾大学病院
35. 2015年2月、講演、岐阜県保険医協会定期総会、「医療事故調のあるべき姿」於岐阜会館
36. 2015年2月、講演、全国老人保健施設協会、平成26年度医師研修会「介護訴訟の実際」於ホテルニューアカオ
37. 2015年3月、講演、「介護訴訟の実際」、於聖隷三方原病院
38. 2015年3月、講演、「個人情報保護法」、於帝京大学付属病院
39. 2015年3月、講演、「介護訴訟の実際」、於ガーデン幸ホール
40. 2015年3月、講演、長野県保険医協会第36回定期総会、「医療事故調査制度で医療の現場はどう変わる」、於ホテルエナビスタ
- 4) 座長をした学会名
1. 2014年11月、医療の質・安全学会、第9回医療の質・安全学会学術集会、「医療法学的視点からみた診療ガイドライン」
- (3) 役職についている国際・国内学会名とその役割
- 日本精神神経学科情報管理委員会監事

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成26年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成26年度
産学共同研究	0件

11 受賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

15 新聞, 雑誌等による報道

1. 2014年9月20日 ゲンロンカフェ、「医療事故調査制度を徹底解剖」